

大学図書館問題研究会京都地域グループ

第 42 回京都地域グループ総会議案

【第 1 号議案】

2018/2019 年度(2018.7～2019.6)活動総括及び 2019/2020 年度(2019.7～2020.6)活動方針

1.2018/2019 年度総括

(1) 研究交流活動

2018 年度の研究交流活動の目標として、勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 3 回程度は開催し、新規会員を増やすきっかけ作りともするとしました。結果、企画は以下の通り 2 回で、交流企画的なものが実施できていません。他の企画も計画はしましたが、講師の日程がつかず実施までいたらなかった問題があります。引き続き新規加入につながるような企画を意識して継続して取り組みたいと思います。

1)名称: 米国図書館界の新潮流「エンベディッド・ライブラリアン」サービス

日時: 2018 年 11 月 4 日 (日)

会場: 京都ノートルダム女子大学ソフィア館 5 階 S502 教室

参加者数: 20 名

2) 名称: 関西 3 地域グループ合同例会「大学図書館の資料保存:体制の構築と継続」

日時: 2019 年 3 月 2 日 (土)

会場: 難波市民学習センター第 2 研修室

参加人数: 34 名

(2) グループ報

2018 年度刊行分につきましては、発行期日の遅れが生じたため、合併号として刊行する号も出ましたが、計画的発行に努めました。

イベントを開催するたびに、参加者に参加報告の執筆を依頼し、京都地域グループの活動を会員の皆さんに知ってもらえるよう努めました。

2018 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.325-326 (2018/8/15-2018/10/15 発行)

- ・大図研京都地域グループ忘年会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 41 回京都地域グループ総会議案
- ・第 1 号議案
- ・第 2 号議案
- ・第 3 号議案
- ・議事メモ・補足事項
- ・会費納入のお願い

2) グループ報 No.327 (2018/12/15 発行)

- ・大図研関西 3 地域グループ合同例会のご案内
- ・グループ委員 挨拶

- ・大図研京都ワンディセミナー「“羊さん” こと水知せりさん（漫画家）が語る「“学術情報の伝達”と“利用者の活用術”」（児玉 恭祐）
- ・会費ご納入のお願い

3) グループ報 No.328-329 (2019/02/15-2019/04/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会第 50 回全国大会のご案内
- ・大図研京都ワンディセミナー 米国図書館界の新潮流「エンベディッド・ライブラリアン」サービス参加報告 「外側」のライブラリアン（佐藤 知生）
- ・ワインとメタデータ（坂本 拓）
- ・会費ご納入のお願い

4) グループ報 No.330 (2019/06/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 42 回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 42 回京都地域グループ総会議案
- ・会費ご納入のお願い

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトでは、イベントのお知らせや、グループ委員会の報告等、グループ活動の記録を定期的かつ迅速に掲載しています。2011 年度に開始したグループ報電子版は創刊号から最新号まで、一部許諾の得られなかった記事を除き、全て掲載しています。また、グループ委員で使用しているサイボウズ live のサービスの終了を受け、代替のグループウェアとして、Google ドキュメントにデータを移行しました。

メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no. 254 (2018 年 7 月 30 日) から no.265 (2019 年 4 月 8 日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を月 1 回に配信しています。さらに Twitter の活用を図り、725 アカウントのフォロワーを得ています。

忘年会やワンディセミナーの告知、セミナー内容のツイートやそのまとめ作成、グループ報発行の広報を行いました。

(4) 組織活動

58 名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。

2018/2019 年度は退会者が 2 名、また新規入会者は 0 名でした。

ワンディセミナーは多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めましたが、次期に課題を残す結果となりました。

(5) 財務

財政基盤が強化されましたが、今年度は執行が進まず、繰越金が増加しました。グループ報によるグループ会員の会費の前納の周知、経費節減の見直しを検討しました。

(6) 広報とデザイン

大図研京都ワンディセミナー「米国図書館界の新潮流「エンベディッド・ライブラリアン」サービス」のポスターを作成しました。

Web サイトを有効活用し、広報・周知に努めました。

2. 2019/2020 年度活動方針

(1) 研究交流活動

1) 会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

- ・ 会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。
- ・ 勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 3 回程度は開催できるようにします。

2) 企画担当スタッフの増強

2019 年度の活動に向けて、企画担当の増強を行う予定です。これまでの企画とは一味違う取組みを進める予定です。

(2) グループ報

定期発行と正確で読みやすい誌面の作成とともに、広く寄稿を求めかつ連載記事を企画することにより、コンテンツの一層の充実に努めます。今後も、会員に「発表の場を提供する」という目標のもと、会員間での情報共有が進むためのきっかけを提供することを目指し、引き続き努力していきます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報や電子化されたグループ報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。

また、メールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

さらに広報活動の一環として Twitter アカウントの積極的活用を継続します。

(4) 組織活動

ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS 等を通じ、京都地域の持つ魅力を認識し、高め、入会者が大図研京都地域グループに在籍していることにより一層価値が見いだせるような活動を行います。

なお、入会・退会・会員情報の異動は全国が窓口となっております。全国の組織担当者との連携を取り、スムーズに異動情報を把握できるよう努めてまいります。

(5) 財務

今後も活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上します。また、執行が遅れております事業の執行を促します。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナーやその他交流会等において、引き続きポスター・チラシ作成、Web サイト等の広報活動に努めます。

今後も特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。